# EDS/HSD 患者さんへの質問紙調査ご協力のお願い

**この研究について**

エーラス・ダンロス症候群（EDS）および過剰可動性スペクトラム障害（HSD）の患者さんは、診断や適切な医療を受けること、周囲に病気を理解してもらうことなど、さまざまな困難を経験することがあります。

本研究では、EDS/HSD 患者さんの経験や考えをうかがい、その結果を今後の医療や支援の改善に役立てることを目的としています。

本研究は名城大学人を対象とする研究に関する倫理審査委員会の承認（承認番号 2026－31（人 2026-4））を受けて実施しています。

**調査対象**

次のすべてに当てはまる方・　18 歳以上

- EDS または HSD と診断されている方
- または EDS/HSD が疑われ、現在診断過程にある方

**調査内容**

Google Forms による質問紙調査

- 所要時間：　約 10 分
- 選択式　35 問
- 自由記述　1 問

質問紙の最後に、希望者のみ Zoom（約 30 分）の面接調査について、ご希望をうかがう質問があります。

**ご参加について**

参加は完全に自由です。

Google Forms には、研究の詳しい説明、研究参加への同意書、質問紙が含まれています。

説明をよくお読みの上でご参加ください。

お知り合いに EDS の患者さんがいらっしゃいましたら、下記の情報を共有していただけると幸いです。

多くの方のご参加を歓迎いたします。

**QR コード**（または URL よりアクセスしてください）

**URL:**　https://forms.gle/qCERHnKksDmfy6zw6

**回答締め切り　2026 年 9 月 30 日**

**日付**　2026 年 9 月 3 日

**研究責任者**　名城大学人間学部
教授　和田実

**お問い合わせ**　名城大学大学院総合学術研究科
塩﨑　万里
Email:　shiomari@meijo-u.ac.jp